

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かれ合い

No.38

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

しわす
師走
12
2013

講演を連載します

キリスト者九条の会で11月4日に講演された平良修牧師のお話が共感をよんでいます。今号から6pに数回に分けて講演を掲載していきます。

「沖縄という鏡を通して見える日本国」です。



12月のお知らせ

- ◆12月7日(土)下関アムネスティ例会(市民活動センター)…14時
- ◆12月8日(日)英語ミサとクリスマスパーティー(1品持寄)
15時～ カトリック黒崎教会にて
- ◆12月10日(火)社会福音部会(アドラック)…19時
- ◆12月11日(水)イチイチ祈りの会 援助修道会…19時
映画「ひまわり」(ウェル戸畠) 5p詳細
- ◆12月14日(土)～柳瀬正夢展(北九州市立美術館) 5p詳細
- ◆12月15日(日)正義と平和全国大会実行委員会(大名町)…14時30分
- ◆12月7日(土) ACO定例会(天神町)…9時30分
12月のカトリック黒崎での虹の会はお休みです。

秘密保護法案 衆院 強行可決

またたく間に可決。まったく許せません。11月26日に安倍内閣は秘密保護法案を衆議院に緊急上程し、賛成多数で可決しました。この秘密保護法案が国民に知られたのが9月初めでした。その内容を知った人々は法案に反対の声を広げてきました。その翌日に「審議はつくされた」として数の暴挙、强行採決を行つたのです。秘密の指定期間だけをみても、元の案では30年であつたものを「60年」とし、半永久的に秘密にされるおそれさえあります。まさに「わが亡きあとに洪水はきたれ」です。議論は参院に移っています。何もかもが秘密とされなければならないものですから修正や代案ではなく、廃案としなければならない倍政権の「行き過ぎた権力強化が国家を危うくする」と主張されています。いま保守的と言われるマスメディア等からも安倍政権の「行き過ぎた権力強化が国家を危うくする」と主張されています。心あるみなさまと共に自民党憲法改憲草案の流れに沿うような安倍政権の動きに反対の声を、拱手傍観せぬましょう。

国民主権を踏みにじる暴挙

ときのことば

わたしたちは、自由に意見を言う権利があります。だれもその邪魔をすることはできません。人はみな、国をこえて、本、新聞、ラジオ、テレビなどを通じて、情報や意見を交換することができます。

世界人権宣言19条 谷川俊太郎訳

援助修道会 修道院より

12月11日：イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。
どなたでもお出でください。



日本軍「慰安婦問題」とは何か

11/9(日)
細江カトリック教会

山下明子さんがその問題点を語る

(世界人権問題研究センター研究第4部(女性の人権)客員研究員。
アムネスティインターナショナル日本・「慰安婦」問題チームコーディネーター。)

日本とコリアを結ぶ会の市民公開講座が開かれ、日本軍「慰安婦」問題に精通されている山下明子さんが講演されました。多岐に亘る問題を示唆されましたので、その要点を今号から少しづつ紹介していきます。

講座のスタートは30分の映画『希望へと羽ばたく蝶』を観てから講演に入りました。

山下さんは「女性と宗教を専門に調査・研究してきました」と語り、「ナビ基金」が作られ、世界中に広がっていること、その目的は戦時下のレイプを受けた女性達と連帯し、人権が守られる世界を作ろうというもので、可哀想とかお金で支援しようという意味ではないと言われました。



〈メディアの役割〉

日本ではこの慰安婦問題をキリスト教会内で話しても関わりたくない空気があり、なかなか難しく思います。韓国とのこの差は一体何なのだろうと。しかし今年の橋下大阪市長の発言以降、慰安婦問題の関心が高まってきました。

産経新聞と朝日新聞の論調は正反対になっています。産経を読むと、“従軍慰安婦は無かった。眞実はこれだ”と全国展開の活動を載せています。明らかに黒であるものを白にして広めようとしており、これが「日本の名誉を守ることなんだ」「正義だ」という考えです。しかし今、原発問題のように真実を知りたいという思いを抱いている人たちが増え、その人たちにどのように伝えようかと思うのですが、その点、メ

ディアの役目はすごく大切です。

〈日本軍「慰安婦」という言葉の意味〉

「」付きですが、メディアではありません「」を付けず“従軍慰安婦”などと書かれています。実は、慰安婦・軍慰安所という言葉は戦争中に使われていた言葉で文書にも出てきます。これは実態を隠すために作られた曖昧な言葉なのです。1995年の国連女性会議で正式に「日本軍性奴隸制度」となりました。元慰安婦の方たちは、慰安婦も性奴隸の言葉も大変嫌がります。そこで理解ある人たちは「」付きで慰安婦という言葉を使っています。

1993年の河野談話では、日本軍性奴隸制度を認めていません。何故なら性奴隸制度となれば、当時の日本が国際法に触れてしまうからです。実態はそれでも日本は決して使わないのです。しかし国連関連文書では、本人の意思に反し、逃げられない状態で性労働をさせられたことが性奴隸。お金をもらったか、もらっていないかは全く関係なく、また、強制であろうが、だましであろうが、ある程度本人の納得があるが、嫌だと言っているにもかかわらず強要されたことが、国際法上の性奴隸なのです。ただし日本が“認めない”という立場なのです。

黒崎教会
分かち合のひととき



11月24日(信仰年閉幕)
15名参加

－祈りによって癒される－

「ママにしてくれてありがとう」(『悲しむ力』 真宗大谷派僧侶 中下大樹著より)

著者は被災地石巻市の遺体安置所で、生まれて間もない我が子を喪った女性に出会いました。その時の著者の思いを読んで分かち合いました。

「祈りによって他者を大切に思い、触れ合う。そして寄り添いたい。」「祈りとは交わること」など祈りを大切にする日々の思いが分かち合われ、豊かな時間を過ごしました。

以前祈りと同時に大切な方を喪う体験をされた

方の、「今では息子と祈ることが癒しのひと時となり感謝している。」というお話が心に響きました。※ 人は試練を受け続ける。しかし乗り越えられない試練は無い。そして乗り越えた後は、乗り越えた苦難の大きさだけ、他人の痛みを理解できるようになる。「妻と最期の十日間」※(参加者提供資料より)

次回2014年1月26日ミサ後です。

どなたでもご参加ください。

「共に生きる」紙ツイッター欄の“だまっておれなくて”と“イラスト”的作者である西山すすむさんが、日本原水爆被爆者団体協議会新聞「被団協No.412」に手記を書いておられました。題名は“生きぬいて”です。ご了解を得ましたので、掲載致します。

「怠けもん」となじられ、家族と別れて

西 龍典(西山すすむ)さん 85歳(長崎被爆 当時17歳 福岡市在住)

あれが原爆症だったのかもしれないーいや、きっとそれに違いない。爆心地から3.5キロ、屋内で難を免れたが、翌日は救急隊で爆心地を彷徨。多量の放射能を体内に取り込んだことは間違いない。それから1年間、脱力感と虚脱感に悩まされた。それは突然襲ってきた。朝、目覚めると立っていられないほどの体のだるさである。熱はなく、どこかが痛むこともなかった。とにかく「だるい」のだ。

私は「お国のために」希望に胸膨らませて三菱造船所に入ったのだったが、会社は敗戦後、鍋、釜など生活必需品の生産を始め私の職場でもお釜の「やすりかけ」が忙しくなっていた。

私たちの寮が進駐軍将校宿舎として接收され、連行朝鮮人たちが生活していた寮に移動した。荒涼とした収容所のような所だった。不良少年の一団が時々やってきて少年工を餌食にした。ここにいたら人間がだめになると想え46年3月、4年間勤めた造船所を辞め、大分の実家に帰った。

父は高校の教師で、義母と妹2人の5人家族。薄給と食糧難の中私は歓迎されざる客だった。父は親戚から田んぼを借りて米麦の耕作を始めた。5月、麦の刈り入れとき例の症状が現れた。私はあぜ道にゴロンと横になったまま動けなかった。「こら、起きんか」父の罵声が飛び、義母は「こんやつは怠けもんになつて帰つて来た」となじった。原爆の放射能のこととは誰も知らなかつた。

ある日、義母が「おまえ今夜から食事はあっちじゃ」と言った。当時2人いた下宿人の食事は家族と別で、ご飯も代用食の団子汁もどんぶり1杯のおきまりだった。ふすまごしに聞こえた「お代わり」という妹の声に悔しさがこみ上げた。翌日、義母の財布から500円をぬきとり「二度とこのうちの敷居はまたがぬ」と、飛び出した。

それから3年間、私は九州一円を放浪した。その間のことは筆舌には表せない。

どうしてこんなことになったのか。自己責



写真は
You Tube
九州脱原発
人間の鎖
より

任かもしれない。しかし遠因は戦争であり、原爆だった。どうして原爆被爆者になったのだろう。

日本の敗戦は原爆を落とさなくても決まっていた。原爆はアメリカが「落とした」。対ソ政策と「人体実験」のため、日本に投下したのだ。

45年2月、御前会議の席上、近衛首相が「停戦」を天皇に上奏。天皇は「もう少し戦果を挙げてから」と戦争を引き延ばした。その後、東京大空襲、沖縄戦、そしてヒロシマ、ナガサキ。

あの日から68年、日本が再び戦争する国へと回帰を始めそうな今日、私はもう一度、原爆投下に至った原点を考える。

私たちが目をそらしてはならないのは、日本が軍国主義国家をつくり上げ、国民が天皇のために喜んで死ぬ教育を徹底的にたたき込んだことだ。そして、アジアにおける霸権を打ちたてるため、軍事力を強化し、アジアに対する侵略を進めた。

いま被爆者を含め、戦争被害者が国家補償を要求している。「原爆被害への補償」は銭金ではない。人間として死ねなかつた死者、生かされた人たちが抱えた被害、それはどうしたら癒されるのか。今のままで死んでいた人たちには浮かばれない。また、次の世代に何を残せばいいのか…。

日本は再び戦争をする国になつてはならない。そのために、戦争放棄をうたい上げた憲法9条を守っていくことだ。国政選挙ではしっかり選ぼう。過去に目を閉ざすものを選んではならない。

ポルトガルの日本最初の根拠地

秋吉久紀夫

「私が親しくなったポルトガルのある商人（アルヴァレス）は日本において、アンジロウの地方に長く滞在していた人で、よく日本のことを知っているから、その人に依頼して：日本とその住民とに関する報告書を作成することを頼んだ。彼がその報告書をくれたので、ここに同封してお送りする。私が日本に行けば、日本人は豊富な知性の持主であるから、インド辺りの土民を相手にしているよりも、よく神へ奉仕することができるにちがいない。というのが、日本から帰つてくるすべての商人たちの一一致した意見である。それで私の心の中の動きをみると、この先二年の間に、私自身か、または（イエズス）会の他の司祭が日本へ行くことになるだろう」。ザビエルはさらにヤジロウらがキリスト教

に深い興味を抱いているのを知って、彼らに洗礼と教育とを授けるためにゴアへ送り、自身も程なくゴアへ帰港した。一五四九年六月二十四日、ザビエルは二人のイエズス会士を含む三名の日本人改宗者を連れ、マラッカを経て日本へ向けて出航した。当時はまだ日本への定期船はなく、中国との貿易を行つていたポルトガル船はみなマカオ沖の上川島で越冬していたが、マラッカのダ・シリヴァ総司令官は、マラッカに居を構えていたアランという中国人のジャンク船を斡旋してくれ、彼と正式な契約を交わして日本へ向けて直接出航した。こうしてやつと八月十五日聖母昇天の日、目的のヤジロウの故郷である薩摩の港に到着した。彼はそこでヤジロウに伴なわれて、

ザビエルはそのことについて、次のような手紙を書き送っていた。
「聖ミカエルの主日、われらはこの国の領主のもとで引見された。彼は我等をおおいに崇敬し、イエズス・キリストの教えが、正しく善きものなら、悪魔は大いに不快に思うこと故、我等はキリスト教徒の掟をしたためてある書物を、大切に保存すべきであると述べた。それから、数日経て彼は家臣たちに、希望なら一同みなキリスト教徒になつてもよいとの許しを与えた。余はこの好ましい報せを汝等の慰めまでに、手紙の終りにしたため、汝等がそれについて、我等の主に感謝するやう望んでいる。」

ただし、ザビエルは、領主島津貴久が、なぜこれほどに寛容な態度を示したかについては、一言も述べていない。ただ貴久は宣教師を優遇することによつて、ポルトガルの船泊を、領内の港に導き、利益を貢ろうという魂胆であつたことは明らかである。またポルトガル側にも、収奪を目的とする海賊活動に従事していたザビエルは、その著「日本史」で日本とスは、その著「日本史」で日本との貿易が盛んになれば、宣教活動にとつて又とない機会だと次のように説いている。

(次に続く)



「**指きりげんまん**」(高笑い)

全員合唱「財界の春を泣かせるようなことはしない」
保守政党「OK 合点承知の助」

財界「お金がいるときはいつでもあって下さい 用立てますから その割り
き あればもう鬼に金棒」

お 金

だまつておれなくなつて



13年ぶりの大坂城公園(Y)



せっかく来たんだからと、久しぶり大阪城へ。以前とすっかり様変わりしていました。その頃は、ブルーシートに囲まれて野宿されている方が至る所に。

今回は、真田幸村の赤旗を背にした武士が二人。きっとこの時代まで二人は生き延びたのでしょうか。記念にハイポーズ。神妙な顔つきでした。

さよなら原発1万人集会(I)

時折雨が降る舞鶴公園。11月10日の九州沖縄さよなら原発集会に何人集まるかな…1万人でした。熱気もすごいのですけど、手作りプラカードを見るのが面白い。壇上で若者による歌とダンスが見られるのも、「うたごえ世代」とは違う新鮮さを味わいました。



気分はもう……(Na)

クリスマスがやってきます。ちょっと早めですが、手作りしました。写真を送ります。掲載してもらえますか?

(写真有難う／編集部)

“京劇”に感動 (みな)



▲ 孫悟空vs百骨妖怪!

始まる前に、楽屋見学が出来ました。白骨精役の孫銘陽さんがお化粧をしているところです。



ツイッター

友人から「A席の空きが出たので行きませんか」と誘われ、北京風雷京劇公演を観賞することができました。70年以上の歴史を持つ劇団だそうです。なんと言っても役者の表現・表情が観ている私たちにその場面を想像させてくれるんです。素晴らしい公演でした。尖閣問題でなにかと政治の世界はぎくしゃくしているようですが、文化交流の輪を大きくするのがいいと思いますよ。ところで京劇は英語で「ペキン・オペラ」というそうです。そして演劇が良かったら、「ハオ(好)」と声かけすると舞台と客席が一体になることも学びました。ハオ!

お知らせ

映画「ひまわり」 沖縄復帰40年企画作品
基地と人間の壮大な物語 一般1,500円
12月11日(水)ウェルとばた中ホール
①13時～ ②16時～ ③19時～
主催/北九州「ひまわり」を観る会 連絡090-961-2324

柳瀬正夢展 北九州市立美術館
電話 093-882-7777

郷土の誇る反戦反骨の偉大な芸術家
12月14日(土)～2014年2月2日(日)
観覧料/一般1,000円 高・大生600円

カトリック福岡教区信徒協研修会記録集ができました。(森山神父講話記録含む)
A4サイズ 28ページ
ご希望の方は、編集部までご連絡を
FAX 093-622-1290

「キリスト者・九条の会」北九州での講演

沖縄という鏡を通して見える日本国

日本キリスト教団牧師（沖縄在住）



(1) ● ● ● つたら、多くのキリスト教国は落第で日本を選ばれたというなら日本の責任は重大ですね。この9条を守り抜き実現させることを神様から委託されているんだと私は思っています。日本中にたくさん9条の会があり

本物は？——9・11アメリカに象徴的大事件が起きました。ブツ

シユ大統領は報復の戦いをすると言つて、国会に承認を求めたのです。その中でたつた一人、カリフォルニア出身のバーバラ・リー議員だけが反対しました。私は、辺野古の運動にも参加していますが、メントのリーダーだった方がもうお亡くなりになりましたが、私に質問しました。「アメリカの国会にはクリスチヤンは一人しかないので

きいと感じます。具体的にバー・バー・リーになつてください。
日本という国はどういう国か―― を知る為の切り口はいろいろあります。その一つに沖縄という切り口があります。沖縄を通して日本国を見たとき、どういう日本国が見えるのか、その見方をお話したいです。自分自身の事を知るのは大切ですし、自分の國の事も知ることは大切ですか。

「あなたは自分のことを日本人だと思いますか」
という質問を受けたことがありますか？たぶんこういう質問は普通起こらないでしょう。あなたは自分のことを日本人だと思いますか。当たり前

でも沖縄ではそれができるんです。

いりますか」この質問をできるのが中選年です。2007年

の調査ですが「あなたは自分を日本人だと思いますか」の問い合わせ記 富雄さんです。首相が拡大に場からもって民にも権を冒はといて戦うこともした。

に「いいえ、私は沖縄人です」と答えた人が42%。「沖縄人で

日本人が30%と報告されています。日本国籍は持つていま

すか、沖縄人と答えた人が41%もいるのです。これは何を意味するのでしょうか？

かなり前、沖縄に西銘順治とう自民党系の田事がいました。

なかなかの太い人物だつたと思
います。（続く）

編集後記

労働運動総合研究所顧問の牧野富雄さんの話を聞きました。「トリクルダウン論」です。徐々にしたたり落ちる意味だそうです。安倍首相が国会で「企業収益の改善が個人の所得と消費の拡大につながる」と答弁したことに対し経済学の立場から論破し、これがごまかしであることを実例でもって語りました。最後に「大企業が潤えばやがて庶民にも回ってくる」という発想そのものが、基本的人権を冒とく」と。つまりあこほれがあるのを満足せよというのは間違いで、賃金や生活向上は権利として戦いとるべきものだということです。経済を学ぶことも平和憲法を生かすことにつながると実感しました。（瀬下）